

# 日本の美術館と 西洋近代美術

東京編

一橋大学言語社会研究科が学芸員資格取得者を輩出するようになって、2024年は20年を迎える。今回のワークショップでは本研究科出身の3人の学芸員および研究員を招き、西洋近代美術の視点から日本の美術館の歴史を振り返り、現在地の一角を示したい。

## 開催形式

オンライン（Zoom ミーティング）

## 申込方法

Google フォームにて受け付けています。  
右のQRコードよりお申し込みください。



## プログラム

### 第1部 研究発表

小野寛子（練馬区立美術館）

『日本の中のマネ』展より：小川千甕《田園風景》にみるマネからの影響

長名大地（東京国立近代美術館）

東京国立近代美術館と／の西洋美術：展覧会とコレクションを通して

樋口茉呂奈（世田谷美術館）

世田谷美術館の素朴派：コレクションと開館記念展「芸術と素朴」にはじまる活用について

小泉順也（一橋大学言語社会研究科）

日本の美術館小史：西洋近代美術の観点から

### 第2部 全体討議

主催：一橋大学大学院言語社会研究科

（科研費）基盤研究C 「日本の美術館とフランス近代美術コレクション：多様性と同質性をめぐる国際比較（22K00121）」

2024

4/29 月祝

13:30～16:40

事前申込制（定員90名）